

## 何気ない日々への気付き

学校長 遠藤 淳子



小机団扇

長月を迎えます。9月は他にも、菊月・紅葉月とも呼ばれ、夏から秋への季節変化を感じるものです。校章になっている「柏」の実も、随分大きくなり、見上げるたびに実りの秋への期待感が膨らみます。

この夏は、体温を超える気温が続き、気候変動による自然災害等も、連日報道されました。夏休みが明けて、子ども達が、大きな事故や怪我がなく再び登校できたことに安堵しています。夏休み中には、多くの地域行事がありました。地域の皆様におかれましては、気持ちが大きくなりがちな子ども達の様子をお見守りいただきましたことに感謝申し上げます。私も、この夏は、職員室アシスタントが作製した「小机団扇」をもって、毎週末に行われた各自治会の盆踊りに教職員と一緒に参加させていただきました。太鼓に合わせて久しぶりに盆踊りを踊り、浴衣姿で夏祭りを楽しむ子ども達の様子を目にして嬉しい気持ちになると同時に、自治会ごとに、未来を担う子ども達を大事に思い、地域のつながりを感じ合う機会を大切にされている小机・城郷地域の皆様の郷土愛を深く感じるものでした。地域の学校として、皆様とともに子ども達を健全に育てていきたいものと改めて思う夏でもありました。

夏の季語でもある「団扇」は、紀元前3世紀に中国から伝わったとされています。「団」は「丸い」を、「扇」は「扉を羽のように開閉する際に起こる風」を意味していると言われます。中国の和平小学校と交流をもっている本校には、和平小学校から贈られた中国の伝統団扇があります。私物である「京団扇」や「奈良団扇」と扇子比べをしてみました。改めて、団扇のつくりやしなり具合、風の違いを体感してみることはとても興味深いことでした。団扇それぞれの歴史を調べたり、成り立ちを知ったりすると、日頃、何気なく手にしている物にも、新たな価値や意味が加わるように感じます。

9月以降は、前期後半となり、前期のまとめとともに、10月に向けて運動会の練習も重ねていきます。本校が大切にしている「たてわり活動」のよさを生かしつつも、時に立ち止まって考えたり、知恵を合わせたりしながら、令和5年度の今だからこそできる新たな学校生活を、子ども達とともに創っていきたくと思っています。保護者・地域の皆様におかれましては、子ども達が、何気ない毎日に改めて意味を見出していけるようにお導きいただきたく思います。引き続き、学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

9月以降は、前期後半となり、前期のまとめとともに、10月に向けて運動会の練習も重ねていきます。本校が大切にしている「たてわり活動」のよさを生かしつつも、時に立ち止まって考えたり、知恵を合わせたりしながら、令和5年度の今だからこそできる新たな学校生活を、子ども達とともに創っていきたくと思っています。保護者・地域の皆様におかれましては、子ども達が、何気ない毎日に改めて意味を見出していけるようにお導きいただきたく思います。引き続き、学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



中国団扇



奈良団扇